

平成25年度「福井新々元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成26年3月末現在)

「福井新々元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成25年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成26年3月

総務部長 森近 悦治

I 総括

1 県立大学の改革やグローバル人材の育成

- ・ 県立大学において、第2期中期計画の達成に向け、看護福祉学部看護学科の27年度入学からの県内学生枠5割確保や、語学教育の充実など、大学改革を推進しました。
- ・ 恐竜学研究所を設置し、恐竜関連科目の開講や学生・教員の受入れなどを推進しました。
- ・ アジア経済の調査研究や海外進出に関する訪問相談など、県内企業のアジアビジネス展開を支援するとともに、「福井県アジア人材基金」を活用し、学生・社会人の海外留学や海外企業視察等によるグローバル人材の育成を推進しました。

2 若者のチャレンジと女性の活躍を応援

- ・ 福井の若者が参加する「ふくい若者チャレンジクラブ」では、里地里山の活性化支援を今年度の重点テーマに、伝統行事や伝統野菜・そばづくり等の応援活動を展開したこと等により、新たに340名がクラブの活動に参加し、若者の活動の広がり、仲間づくりなどの動きが進みました。
- ・ 「未来きらりプログラム」による女性リーダー33名の育成や、女性が活躍しやすい職場環境づくりを進める「女性活躍支援企業」18社の登録、男女が協力して家事を行う風土をつくる家事チャレンジ検定などにより、女性の意欲と能力を引き出すための環境づくりを進めました。

3 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会開催に向けた着実な準備

- ・ 国体および全国障害者スポーツ大会のすべての正式競技会場地を決定するとともに、国体と全国障害者スポーツ大会の開催準備を一体的に進めました。また、マスコットキャラクターを活用した広報横断幕を県内全域の学校等に掲出するなど、国体の周知に努めました。

4 ふるさと創造プロジェクトの推進

- ・ 13市町と共働で、町家を改修した店舗の開業や越前漆器小型山車の製作など、歴史や文化、景観などの地域資源を活用した住民参加による魅力ある地域づくりを進めました。
- ・ 残る4市町についても、26年度に計画策定に着手するとともに、すべてのプロジェクトを全国に誇りを持って発信していきます。

5 健全財政の堅持

- ・ 「長期の財政収支見通し」における県債や財政調整基金等の残高の水準を守りながら、健全性を確保した予算編成を行うとともに、引き続き、行財政改革を進めました。

Ⅱ 「政策合意」項目にかかる結果について

- ・別紙「平成25年度 政策合意項目にかかる実施結果報告（総務部）」のとおり

平成25年度 政策合意項目にかかる実施結果報告(総務部)
(平成26年3月末現在)

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)

役職	総務部長	氏名	森近 悦治
項 目		実 施 結 果	
<p>1 技術と戦略で勝ち抜く福井の産業 ◇ 福井本拠にグローバルシフト ○県立大学改革の推進【部局連携】</p> <p>・魅力ある大学づくりを目的とした第2期中期目標(平成25年度～30年度)の達成に向け、語学教育の充実をはじめ、教員評価制度に基づく研究費の配分など、中期計画に基づく改革を県立大学とともに着実に進めます。また、県内入学者および県内就職者の拡大、地域経済研究所による県内企業のアジアビジネス展開への支援等を行います。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>第2期中期目標の達成に向けて、県立大学において大学改革を推進しました。 県立大学生専用のTOEIC試験を実施するとともに、e-ラーニングシステムを導入し、TOEICのスコア向上を図りました(前期平均459点、後期平均521点)。 また、看護福祉学部看護学科の入試において、27年度から県内学生枠を5割(25人)確保することを決定しました。 地域経済研究所においては、個別訪問相談や海外企業視察の実施(3回:ベトナム、タイ・ベトナム、カンボジア・ベトナム)等により、県内企業4社がアジア進出を決定しました。</p>	
<p>○恐竜学研究の充実強化【部局連携】</p> <p>・県立大学に設置した恐竜学研究所において、年間を通じて、恐竜学や地球生命史学など恐竜学関係の講義を実施します。 ・恐竜化石の共同発掘など他大学や研究機関との交流を進め、世界的に高い評価を得ている研究部門の学術的なレベルをさらに高めます。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>25年4月、県立大学に恐竜学研究所を設置し、恐竜ブランドを高めるため、恐竜学関連科目を4科目開講しました(恐竜学、地球科学、地学概論、地球生命史学)。 広島大学、富山大学、米・モンタナ州立大学の学生や研究者を受け入れました。 タイ国立ナコーン・ラチャシーマ・ラジャバット大学附属研究所と25年12月に協定を締結しました。</p>	
<p>○福井を支えるグローバル人材の育成</p> <p>・「福井県アジア人材基金」を活用し、県内学生や社会人に対する海外留学の支援やアジア経済に関する研修を行います。 ・国外からの留学生を積極的に受け入れるとともに、県内企業に就職する際の給付金の給付やビジネスマナー等に関する講座の開催により、外国人留学生の県内企業への就職を促進します。</p>		<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>アジア人材基金の奨学金制度等を活用し、グローバル人材の育成を推進しました(学生等の長期留学20人)。 県内企業のアジア進出や学生のグローバル感覚の醸成を進めるため、アジアに進出している企業への視察研修を促進しました(学生5人、社会人11人)。 さらに、外国人留学生に対しては、日本語能力向上支援(検定料補助28人)、県内企業情報・ビジネスマナー習得支援(セミナー14人参加)、県内企業就職給付金の給付(1人)により、県内企業への就職を促進しました。</p>	
<p style="font-size: 2em;">〔</p> <p style="text-align: center;">県内学生等の長期海外留学者数 30人 (平成24年度 23人)</p> <p style="font-size: 2em;">〕</p>		<p style="font-size: 2em;">〔</p> <p style="text-align: center;">県内学生等の長期海外留学者数 20人</p> <p style="font-size: 2em;">〕</p>	

役職	総務部長	氏名	森近 悦治
項目		実施結果	
<p>2 すぐれた医療と支えあいの福祉</p> <p>◇ 「一役を分担」の地域活動</p> <p>○ふるさと集落の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の受入れや定住、新たに若者が参画して実施する伝統行事の継承、地域の特産品開発等の活動を支援します。 <p>〔新たにふるさとを元気にするための活動を行う集落数 10集落(累計95集落)(平成24年度末 85集落)〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>地域おこし協力隊の増員(3市町4名から7市町11名)や各集落で行う農作業・集落行事の手伝い等の活動を支援し、中山間地域の高齢化集落の維持・活性化を図りました。</p> <p>また、若者が参画して実施するイベントや地場野菜を使った特産品づくりなど、中山間地域で新たな活動を行う集落を支援しました。</p> <p>〔新たにふるさとを元気にするための活動を行う集落数 29集落(累計 114集落)〕</p>	
<p>3 若者のチャレンジと女性の活躍を応援</p> <p>◇ 若者にチャレンジの場</p> <p>○若者のチャレンジ活動を応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者自身が企画・運営する研修会や活動発表会、農業体験や伝統行事などの里山活動、ふるさと知事ネットワーク参加県である三重・山形の若者グループとの県外交流など、若者のチャレンジ活動を応援します。 ・若者が企画する優れた地域活性化プランの実施を支援し、福井を元気にする活動を始める若者を増やします。 <p>〔新たにチャレンジ活動に参加する若者の数 330人(平成24年度 326人)〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>農業や伝統行事の担い手活動等の里地里山保全の応援活動、三重・山形の若者グループとの交流、さらには、福井駅前電車通りでの活動発表会や地域づくりの企画立案をするワークショップなどの「ふくい若者チャレンジクラブ」の活動を応援した結果、昨年度を上回る192名の若者が、新たにクラブに登録しました。</p> <p>また、若者5グループが企画する地域活性化プランを支援した結果、伝統工芸ものづくり体験会や過疎集落の夏祭りの実施などにより、新たに86名の若者が活動に参画しました。さらに、今年度は、ドイツの芸術大学で絵画を学ぶ若手アーティストとフランスの洋菓子店で修行する若手パティシエの海外での武者修行を応援しています。</p> <p>〔新たにチャレンジ活動に参加する若者の数 340人〕</p>	
<p>◇ 働く女性に活動のゆとりを</p> <p>○女性リーダーの出やすい社会づくりの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに必要な知識を学ぶ「未来きらりプログラム」を実施し、管理職となる女性を育成します。 ・働く女性の相談役となるメンターの養成や「ふくい女性活躍支援企業」の登録をさらに進め、女性が活躍しやすい職場環境を整備します。 ・「家事チャレンジ検定」や家事を実践する男性が自らの活動を発信することを通じて、男性の積極的な家事参加を促進します。 <p>〔「女性活躍支援企業」登録企業数 15社(平成24年度末 95社(累計110社)) 「家事チャレンジ検定」受験者数 600人〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>キャリアアップに意欲があるリーダー候補の女性33名が、「未来きらりプログラム」を受講し、課長に登用されたり、営業職などの新分野へ配置される女性が出てきました。</p> <p>また、女性活躍支援企業の中から、新部門へ女性がチャレンジしやすい制度を構築する企業や、女性のチーム設置により新製品開発に女性の意見を活かす取組みなどが生まれました。</p> <p>家事を実践する男性が自らの活動を発信する「家事チャレ特任課長」17名を任命したほか、8月と11月には、父子や家族で楽しみながら家事に関する知識を知ってもらう「家事チャレンジイベント」を開催し、1,300人以上が参加しました。また、年間を通じて家事チャレンジ検定を実施し、男性の積極的な家事参加を促しました。</p> <p>〔「女性活躍支援企業」登録企業数 18社(累計113社) 「家事チャレンジ検定」受験者数 756人〕</p>	

役職	総務部長	氏名	森近 悦治
項目		実施結果	
<p>4 国体をめざす県民スポーツ、生活のなかに楽しむ県民文化</p> <p>◇ 飛躍する福井のスポーツ</p> <p>○第73回国民体育大会および第18回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国障害者スポーツ大会」の基本方針を策定し、正式競技会場地を選定します。また、国体準備委員会を国体と全国障害者大会を準備する準備委員会に改編し、両大会の開催準備を効率的かつ一体的に進めます。 ・国体の式典基本構想をはじめ、県民運動、宿泊・衛生、輸送・交通、警備・消防の各分野の基本計画等を策定します。 ・マスコットキャラクターのデザイン・愛称を決定します。また、広報用横断幕を市町や学校に掲出し、開催を盛り上げる広報活動に努めます。 	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>8月に国体準備委員会を国体と全国障害者大会を準備する準備委員会に改編し、全国障害者大会の開催基本方針を定めました。2月に障害者大会の13の正式競技すべての競技会場地を選定し、これにより、国体と全国障害者大会のすべての正式競技会場が決められました。また、従来策定した国体の15の各種基本方針等を国体と障害者大会に共通したものに改定し、両大会の開催準備を効率的かつ一体的に進めました。</p> <p>2月に式典基本構想、医事・衛生基本方針、輸送・交通基本計画、プレ大会開催基準要項、競技用具整備要項を検討、策定し、今後の各分野の準備の方向性を明確にしました。</p> <p>7月にマスコットキャラクターのデザインを、12月に愛称を決定しました。また、8月に広報横断幕を小・中学校、高校、県・市町庁舎など県内357か所に掲出し、国体の周知に努めました。</p>		
<p>5 行財政構造改革の推進</p> <p>◇ 県民・市町との「共動」システム</p> <p>○ボランティア活動や県民と共動した新たな公共サービスの促進【部局連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会貢献活動支援ネット」を活用し、県に加え市町や社協においても県民ニーズに応じてボランティア希望者と募集团体を結び付けることができるようにします。 ・地域で活動するNPO等と社会貢献活動に参加意欲のある元気な高齢者とのマッチング会を開催し、アクティブシニアの社会貢献活動を促進します。 <p>社会貢献活動支援ネットへのボランティア希望者の登録数280名 (累計400名)</p> <p>過去1年間にボランティア活動に参加した人の割合(18歳以上) 34.5%</p> <p>アクティブシニアのマッチング会への参加者数 100人</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>県と市町が連携することにより、新たに、県民に身近な市町や市町社協の窓口でも「社会貢献活動支援ネット」を使ったボランティア相談や、マッチングが行える体制を整え、ボランティア活動への一層の参加を促しました。</p> <p>地域で活動するNPO等と元気な高齢者とのマッチング会を、美浜町(9月)、坂井市(10月)、鯖江市(10月)で開催し、延べ31団体のNPOが活動内容の紹介等を行い、アクティブシニアの社会貢献活動への参加を促しました。</p> <p>社会貢献活動支援ネットへのボランティア希望者の登録数 年度末見込 291名(累計411名)</p> <p>過去1年間にボランティア活動に参加した人の割合 (18歳以上) (県独自調査) 70.5%</p> <p>アクティブシニアのマッチング会への参加者数 145人</p>		

役職	総務部長	氏名	森近 悦治
項目		実施結果	
5 行財政構造改革の推進 ◇ 県民・市町との「共働」システム ○市町との共働 ・歴史や文化、食や町並みなど、自らの地域資源を若者の視点も取り入れながら活用・発展させ、全国に誇りを持って発信できる「ふるさと創造プロジェクト」を全市町で推進します。		〔成果等〕 引き続き実施します。 8市町で住民や若者が参画した委員会等を立ち上げ、そのうち、4市町で自然や景観、食などを活かした観光誘客、伝統工芸を活かした交流・定住促進といったプロジェクト計画を策定しました。 また、敦賀市の町家を改修したカフェなど3店舗のオープンや鯖江市の越前漆器小型山車の製作など、7市町において事業を実施しました。 まだ計画策定に着手していない4市町については、プロジェクトの素案について協議を行いました。	
		〔新たに計画策定に着手した市町（8市町）〕 <u>小浜市、大野市、鯖江市、越前町</u> 、坂井市、高浜町、福井市、南越前町 ※アンダーラインは、年度内に計画策定が完了した市町（4市町） 平成25年度に事業を実施した市町（7市町） 敦賀市、勝山市、あわら市、若狭町、小浜市、大野市、鯖江市	
◇ 質の高い政策をめざす県庁 ○職員の実践的な語学力向上 ・若手職員を対象に英語での電話対応や海外からの来訪者に対するプレゼンテーションなどを学ぶ「チャレンジ語学研修」を行い、平成26年度末までに業務に活用できる語学力を有する職員を150人に増やします。 ・業務に活用できる語学力を備えた職員を国際会議や国際的な事業などの場において積極的に活用していきます。		〔成果等〕 目標を達成しました。 若手職員を対象とした「チャレンジ語学研修」を実施し、英語での電話対応やメール作成などの演習を行いました。また、若手職員を対象に「通信教育講座」の受講やTOEIC勉強会、模擬試験などを実施しました。 世界少年野球大会へ8名、里山国際会議へ35名の職員を派遣し、案内業務などに従事させ、語学力の高い職員を活用しました。	
〔TOEIC600点以上（日常会話が支障なくできるレベル）の職員を新たに養成〕 130人（平成24年度末 113人） うちTOEIC730点以上（業務上のやりとりが支障なくできるレベル）の職員を新たに養成 65人（平成24年度末 55人）		〔TOEIC600点以上（日常会話が支障なくできるレベル）の職員を新たに養成〕 135人 うちTOEIC730点以上（業務上のやりとりが支障なくできるレベル）の職員を新たに養成 65人	
○県税収入の確保 ・個人県民税について、県と市町が協力して特別徴収の拡大を図ります。一方、滞納者に対しては「福井県地方税滞納整理機構」による適正な滞納整理を行い、県税収入の確保に努めます。		〔成果等〕 目標を達成しました。 個人県民税については、特別徴収の拡大のため、市町と共同で制度の周知広報や未実施事業所への文書送付、直接訪問などの働き掛けを行いました。 また、福井県地方税滞納整理機構では、約12億8千万円の滞納案件を引き受け、公平かつ厳正な滞納整理による収入確保に努めました。	
〔県税収入率 全国9位以内〕 チャレンジ目標 全国7位以内 （平成24年度末 全国12位）		〔平成25年度県税収入率〕 H25. 12月末現在 全国2位（昨年2位） 年度末見込 全国9位以内	

役職	総務部長	氏名	森近 悦治
項目		実施結果	
5 行財政構造改革の推進 ◇ 質の高い政策をめざす県庁 ○県有財産の有効活用 ・利用予定のない県有地について、積極的に売却や貸付等を進めます。 ・県職員、教職員、警察官による所管部局を越えた職員住宅の共同利用を進めます。		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。 利用予定のない県有地について、積極的に売却や貸付等を進め、売却目標額を達成しました。 また、25年度から本格実施した職員住宅の共同利用を24戸行いました。	
〔 県有財産売却・貸付等 1億2千万円 〕		〔 県有財産売却・貸付等 1億9千万円 〕	
◇「第三次行財政改革実行プラン」の策定 ○コンパクトな行政の推進 ・事務事業の終了やアウトソーシング等により、職員数の適正な管理を継続します。 ・仕事の進め方の改善や成果が乏しい事業の見直しなどを進め、職員の超過勤務を1割以上減らします。		〔成果等〕 目標を一部達成しませんでした。 「第三次行財政改革実行プラン」に基づき、事務事業の見直しやアウトソーシング等を進め、職員数は適正に管理しています。 1人当たりの超過勤務時間数については、9月に発生した台風18号による災害への対応など例年にない業務が重なったため、目標達成には至りませんでした。	
〔 1人当たりの超過勤務時間数 年間150時間 (過去3か年平均 年間約171時間) 〕		〔 ■平成25年度 1人当たりの超過勤務時間数 182時間 〕	
○健全財政の堅持 ・新幹線や国体などの大型プロジェクトの本格化に備え、「長期の財政収支見直し」を指針として活用しながら、行革プランに基づく歳入の確保、歳出の合理化を進め、将来に向けて健全な財政運営を堅持します。		〔成果等〕 目標を達成しました。 「長期の財政収支見直し」を活用しながら、行革プランに基づく事務事業の見直しや職員数の削減、23年度から3年計画で行う県債の繰上償還、国の経済対策で配分された交付金活用による県債発行の抑制など、歳出の合理化を進めました。また、基金の有効活用など歳入の確保を進めることにより、県債や財政調整基金等の残高など財政指標のすべての項目について目標を達成しました。	
財政指標 財政調整基金等の25年度末残高 155億円 県債の25年度末残高(臨時財政対策債を除く) 5,600億円 財政健全化法による健全化判断比率 実質赤字比率 黒字 連結実質赤字比率 黒字 実質公債費比率 18%未満 将来負担比率 210%未満		財政指標 財政調整基金残高 208億円 県債残高 5,567億円 健全化判断比率 実質赤字比率 黒字 連結実質赤字比率 黒字 実質公債費比率 17%程度 将来負担比率 191%程度	

役職	総務部長	氏名	森近 悦治																														
項目		実施結果																															
<p>5 行財政構造改革の推進</p> <p>◇ 150億円の「政策推進枠予算」を確保</p> <p>○政策推進枠予算の財源確保</p> <p>・成果主義による事務事業の見直し等を着実に実行し、政策推進枠予算の財源を確保します。</p> <p>〔 政策推進枠予算（一般財源） 42億円 〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>478の事務事業や情報システム経費の見直しなど歳出の合理化を進めることにより、平成26年度政策推進枠予算として計画を上回る財源（44億円）を確保しました。</p> <p>〔 政策推進枠予算（一般財源） 26年度 44億円 〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象予算</td> <td>/236月</td> <td>/24当初</td> <td>/25当初</td> <td>/26当初</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>26億円</td> <td>38億円</td> <td>44億円</td> <td>42億円</td> </tr> <tr> <td>(累計)</td> <td>(26億円)</td> <td>(64億円)</td> <td>(108億円)</td> <td>(150億円)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>26億円</td> <td>40億円</td> <td>50億円</td> <td>44億円</td> </tr> <tr> <td>(累計)</td> <td>(26億円)</td> <td>(66億円)</td> <td>(116億円)</td> <td>(160億円)</td> </tr> </tbody> </table>		年度	22	23	24	25	対象予算	/236月	/24当初	/25当初	/26当初	計画	26億円	38億円	44億円	42億円	(累計)	(26億円)	(64億円)	(108億円)	(150億円)	実績	26億円	40億円	50億円	44億円	(累計)	(26億円)	(66億円)	(116億円)	(160億円)
年度	22	23	24	25																													
対象予算	/236月	/24当初	/25当初	/26当初																													
計画	26億円	38億円	44億円	42億円																													
(累計)	(26億円)	(64億円)	(108億円)	(150億円)																													
実績	26億円	40億円	50億円	44億円																													
(累計)	(26億円)	(66億円)	(116億円)	(160億円)																													